

<p>1. 杉田 勝典 (公明党)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 普通建設事業費の増大等により合併後最大規模の予算となった。一方、歳出が歳入を上回る状況が続くとする今後の見通しに変化はないとしているが、平成 28 年度予算が今後の財政に与える影響をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 平成 28 年度予算編成では、徹底した経費の削減と更なる自主財源の獲得に向けた取組を講じるとしているが、具体的な取組を明らかにしてほしい。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 28 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 地方創生推進事業補助金が創設されるが、産業振興や若者の雇用創出などの面から、その効果をどのように見通しているか。</p> <p>(2) ビジネスタウン推進事業で、企業のサテライトオフィス誘致における当市の優位性や可能性をどう捉えているか。</p> <p>(3) 新規就農者等定住転入促進事業では、T P P 協定により農業分野に大きな環境変化が想定される中、都会から当市への移住・定住の流れを創り、新規就農者を確保することの至難さと期待度をどう見通しているか。</p> <p>(4) 上越妙高駅周辺商業地域進出企業に対する建築資金借入利息支援事業や家賃補助事業（レンタルオフィス・サポート事業）が創設されるが、これらの事業により、企業誘致の促進にどのような効果を期待しているのか。</p> <p>3. 議案第 17 号平成 27 年度上越市一般会計補正予算(第 4 号)について</p> <p>(1) 地方創生加速化交付金を活用した城下町高田街なか回遊促進事業では、当市をどのようなまちとして P R や発信を行い、交流人口の拡大に向けて取り組むのか。あわせて来訪者の目標などをどう描いているのか。</p> <p>(2) 地方創生加速化交付金を活用した雪冷熱エネルギー活用事業及び雪下・雪室野菜生産拡大支援事業において、市域全体での雪を活用した地域ブランドの確立や地域特性をいかした産業の創出などについてどう考えているのか。</p>
---------------------------	---

<p>2. 中川 幹太 (みらい)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 地域に経済効果のある観光政策が必要であり、新水族博物館の街なかの回遊性向上に資する各種取組への支援を行うとしているが、どのような内容か。</p> <p>(2) メタンハイドレートについて、要望活動と情報収集はどの程度進んでいるのか。また、市民にどのような周知啓発を行い、それは関連施設の誘致にどのような効果があると見込んでいるのか。</p> <p>(3) 中山間地域における地域マネジメント組織の一層の機能強化と役割の拡充を図るとともに、多様な主体との連携により農業生産活動を維持するとしているが、どのような取組を行うのか。また、地域おこし協力隊の活用事業を拡充するが、協力隊 4 人のめどは立っているのか。</p> <p>(4) 若者の活力やアイデアを生かす方策として、上越教育大学や新潟県立看護大学と地域住民・市民活動団体等との相互交流を行うとしているが、具体的な内容とこのことによる将来ビジョンを聞きたい。</p> <p>(5) 市の食糧自給率を高めるために、学校給食の地場産農産物の利用拡大はこれまでも進めてきたが、さらなる利用率拡大に向けてどのような取組を行うのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 28 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 市外の大学等に通学する学生に対し奨学金を貸し付ける、定住促進奨学金貸付事業について、どのような人がどこへ通うことを想定しているのか。</p> <p>(2) 当初予算規模は、第 2 次財政計画と比較して、歳入で約 19 億円、歳出で約 33 億円減少しているが、理由は何か。また、今後の財政計画への影響をどう捉えているか。</p>
---------------------------	--

<p>3. 宮崎 政國 (創風)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 市は公の施設の再配置計画に基づき、約 820 の施設について、おおむね 1 割の再配置を目指して譲渡・休止・廃止等に取り組んでいる。施設の老朽化や人口減少時代に対応するための再配置は重要であるが、取組に当たっては、地域や市民意見にこれまで以上に寄り添い、施設の有効活用が必要である。地域への丁寧な説明を含め、平成 28 年度を取組を聞きたい。</p> <p>(2) 平成 28 年度当初予算の実質予算額に平成 27 年度補正予算額を加えた 15 か月予算額は、1,061 億 5,136 万円となっている。大きな予算規模となった要因は、主に普通建設事業費の増加であり、財政調整基金からは約 16 億円を繰り入れるとしているが、第 2 次財政計画への影響はないか。また、計画を見直す考えはあるか。</p> <p>(3) 平成 27 年度補正予算と平成 28 年度当初予算の編成を一体として行うことで、農業経営の維持・安定・体質強化などに取り組むとしている。農業の所得向上策について、市の具体的な考えを聞きたい。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 28 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 「越五の国」インバウンド推進事業や観桜会事業でインバウンド推進策の予算を計上しているが、当市を訪れる外国人への施策として十分と考えているか。</p>
--------------------------	--

<p>4. 近藤 彰治 (市民クラブ)</p>	<p>1. 議案第 1 号平成 28 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 普通建設事業費の増に対し、市債発行額の増や財政調整基金の繰り入れなどを行うとしているが、後年度負担が危惧される。今後の財政見通しを聞きたい。</p> <p>(2) 新幹線整備促進費の中で、上越妙高駅周辺地区への進出企業に対する支援策を打ち出したが、市としてはこうした支援策を用意した上で、企業が手を挙げるのを待つ姿勢なのか。また、企業誘致に関して具体的な目標はあるのか。</p> <p>(3) 産業振興総務管理費の中で、経済ミッションをシンガポール及びタイに派遣するとしている。平成 23 年度には中国に派遣しているが、効果は感じられなかった。当該事業の狙いを聞きたい。</p> <p>(4) 観光企画費の中で、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業を掲げているが、平成 28 年度に実施する上田市との観光連携の取組について聞きたい。</p> <p>(5) 平成 27 年度で廃止するとした以下の事業について聞きたい。</p> <p>ア 地域ふれあい有価物回収事業は、児童・生徒の環境意識の向上、地域の子ども会等の活動資金確保などの面から重要な事業であった。廃止に当たって総括を行い、代替事業を検討したのか。</p> <p>イ 老朽危険空き家除却費補助金を廃止し、空き家等対策計画を策定する中で、事業のあり方を検討するとのことだが、実効性のある計画をどう考えているのか。</p> <p>2. 議案第 17 号平成 27 年度上越市一般会計補正予算(第 4 号)、議案第 20 号平成 27 年度上越市下水道事業特別会計補正予算(第 3 号)及び議案第 24 号平成 27 年度上越市新幹線新駅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第 2 号)について</p> <p>(1) 合計で 27 億 3,585 万円の繰越明許費を計上しているが、関係者との協議や建築設計に日数を要すなどの理由で、年度内完了が見込めない事業が 16 億 2,067 万円ある。事業実施に当たっての計画や地域等との協議はどのようになっているのか聞きたい。</p>
-----------------------------	---

<p>5. 上野 公悦 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 「暮らし」の戦略中“つながり”を育むまちづくりでは、市民活動への支援が重視されているが、市民が主体となって取り組む地域づくりと行政が主体的に行ってきた施策との関係はどうなっているのか。</p> <p>(2) 「国が推し進める「地方創生」に向けた取組を、当市の総合計画の将来都市像の実現に向けた絶好の追い風とする」とあるが、どのような点を「追い風」と捉えているのか。</p> <p>(3) 平成 28 年度末の財政調整基金残高は、一定の取り崩しを見込んでも約 131 億円に上る見通しであるが、国による地方交付税の見直し措置もあったことから、財政調整基金の過度の積み増しは不要とは考えなかったのか。市民に必要なサービス維持の観点では、どのように検討したのか。</p> <p>(4) 公の施設の再配置計画に基づき、おおむね 1 割の施設の再配置を行うとしているが、1 割という数値の根拠は何か。市民に必要なサービスを縮減しないことを前提に、再配置が必要かどうかの実態調査と市民の声の把握をどのように行ったのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 28 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 定住促進奨学金制度の創設に当たり、対象者を公共交通機関を利用して市外の大学等に通学する学生に限ったのはなぜか。また、対象者は、何人程度見込んでいるか。</p> <p>(2) 奨学金の返還を免除する額を 3 分の 2 としているが、全額免除とするいわゆる給付型奨学金制度は考えなかったのか。</p> <p>3. 議案第 54 号上越市妊産婦及び子どもの医療費助成に関する条例の一部改正について</p> <p>(1) 第 1 条の目的を変更するのはなぜか。</p> <p>(2) 子ども医療費の助成対象が高校生まで拡充されるのは、市民の切実な願いであり、大いに喜ばれるものであるが、適用開始を平成 28 年 9 月からとしたのはなぜか。</p> <p>(3) 窓口での一部負担金の撤廃に言及しなかったのはなぜか。</p>
--------------------------------	---

<p>6. 笹川 栄一 (新政)</p>	<p>1. 議案第 1 号平成 28 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 平成 28 年度の当初予算額は、1,132 億円を超える大型予算になったが、今後の財政に与える影響をどう見通しているか。また、実質公債費比率をはじめとする財政指標の今後の見通しについて聞きたい。</p> <p>(2) 地域協議会費は、前年とほぼ同額が計上されているが、市では、有識者からなる上越市地域協議会検証会議を設置し、同会議から検証結果の報告を受けた。平成 28 年度予算では、委員研修費の増額が見受けられるが、検証結果を受けて、今後、市として地域協議会の活性化に向けてどのように取り組んでいく考えか。</p> <p>2. 議案第 32 号上越市定住促進奨学金貸付条例の制定について</p> <p>(1) 当市から通学できる圏域に自分の希望する大学等が無いため東京圏等に進学し、卒業後は市内企業に就職した場合にあっては、何の優遇措置も受けられない。地元で定住するという点では何ら変わりはなく、公平性を欠いていると思うが、見解を聞きたい。</p>
--------------------------	---